

令和6年度

特別支援教室(マイステップアップルーム)

よつば要覧

拠点校:練馬区立練馬東中学校

TEL/FAX 03-3998-3680(よつば直通)

巡回校グループ

練馬区立練馬中学校、練馬区立田柄中学校

練馬区立北町中学校、練馬区立豊溪中学校

練馬区立貫井中学校、練馬区立光が丘第一中学校

練馬区立光が丘第二中学校、練馬区立光が丘第三中学校

I 拠点校の概要

1. 教室名 よつば（よつばルーム・マイステップアップルーム）
2. 設置校 練馬区立 練馬東中学校
3. 所在地 〒179-0072 練馬区春日町2丁目14番地22号
4. 連絡先 よつば直通 TEL・FAX 3998-3680
5. 開級年月日 平成31年4月1日
6. 形態 特別支援教室巡回拠点校
7. 教職員

校長	竹内 勝己
副校長	西山 健一
巡回指導教員	川田 望 松下 由美子 小林 正樹 成田 貴子 高 遼太郎 牛山 巧望
特別支援教室専門員	(練馬東) 菊池 由佳子 (練馬) 柳谷 貞行 (田柄) 石毛 律子 (貫井) 中島 博 (北町) 桐野 和之 (豊溪) 橋爪 佳子 (光が丘第一) 鈴木 啓一 (光が丘第二) 中澤 美鈴 (光が丘第三) 矢島 淳子
嘱託医	奥 薫 (クリニック川畑)

II 入室対象生徒

練馬区立中学校の通常学級に在籍する以下のような生徒を対象とする。

- (1) 基本的には全体的な知的発達の遅れはなく、通常の学習活動におおむね参加ができる生徒
- (2) 発達障がい等が認められ、週1回の通室が必要と思われる生徒
知的障がいがなく、自閉症、情緒障害、ADHD（注意欠陥多動性障害）、LD（学習障害）がある生徒
- (3) 特定分野の学習活動や行動調整がうまくいかず、対人関係や集団への適応に困難を示している生徒

III 教育目標

生徒の学習上または生活上の困難を改善・克服し、可能な限り多くの時間、在籍学級で他の生徒と共に有意義な学校生活を送ることができるようになる。

- (1) 成功体験を積み重ね、自己肯定感を高める
- (2) 学習に主体的に取り組み、学ぶ喜びを味わわせる
- (3) 人間関係を深め、豊かな人間性を育む
- (4) 体験的な学習・活動を通して、社会性を伸ばす

IV 指導方針

- (1) 相談的な関わりを通して情緒の安定を図り、本来もっている力を引き出し、自己表現や人との関わりに自信がもてるような指導を行う。
- (2) 生徒一人一人の状態に応じて連携型個別指導計画を作成し、個に応じた方法を検討し、個別または小集団活動を通して課題改善に対する意欲を高める。
- (3) 生徒一人一人に目標を考えさせ、主体的に課題に取り組ませることにより、学校生活や社会生活への円滑な適応力を身に付けさせることを重視する。

(4) 在籍学級、保護者及び関係諸機関と連携を図り、共通理解のもとに目標の達成を図る。

V 指導の内容

(1) 教育相談(個別指導)

相談的な態度で本人から家庭生活や在籍学級等の話を聞きながら、本人の生活の実態を理解し、本人の悩みや課題を把握していく。話を聞きながら、本人が自分の気持ちに気づき、それを理解したり、課題に気づいたりできるように支援する。必要に応じて、本人と課題の対応方法を相談し、担任や保護者と連携をとりながら、具体的な解決を図ったりしていく。

(2) 課題に応じた個別学習

学習のつまずきの特徴や情報処理の偏りを考慮して、一例として以下のような個別の指導課題を設定し、生徒の個々の特性に合わせて支援の方法や教材を創意・工夫して指導していく。

- ・学習習慣や学習方法を定着させるための指導
- ・注意を向けて聞き取る、体験を順序だてて表現する指導
- ・読み書き障がい起因する困難への対処、パソコンを取り入れた指導
- ・基礎的な数や図形の概念の理解、計算や実生活で使う数量概念の指導
- ・対話などを取り入れた文章読解や、自己の体験や考えを表現する作文の指導

※教科の予習・補習や在籍学級での学習の遅れを取り戻すための指導は行いません。

(3) 技能的学習

作業を通して集中力や手指の巧緻性を高め、作り上げることで自己肯定感を育てる。また、他の生徒との共同作業を通して作業手順の理解や自己統制力の向上、他者の理解や協調性などの対人関係能力の向上を図る。

(4) 体育的活動

運動が苦手な不器用さや協調運動障害等を併せもつ生徒に対して、基礎体力・運動のバランスやコントロール・協応運動の向上を図る。また、楽しく運動しながら人と関わることで、情緒の安定を図り、スポーツ・レクリエーションを楽しむ態度や習慣を養う。

(5) コミュニケーション指導

対話の基本的な態度・技能の指導や具体的なスキルを指導し、コミュニケーション能力を育てる。また、カードゲームやボードゲーム、スポーツ等を楽しみながら、生徒同士の交流を体験させていくとともに、会話の練習をしながら社会的ルールに従った行動様式を身につけ、人間関係の築き方を体得させる。さらに、生徒自身が活動の計画を立てたり、共同作業に取り組んだりすることによって同世代の友達とのかかわりに自信と広がりをもたせる。

(6) 脳の活性化を図るトレーニング

視能訓練、聴き取り訓練、コグトレ、論理脳トレーニングをはじめとした、脳の活性化を図るトレーニングを取り入れることにより、各自の苦手な分野の改善や補填機能を育てる。

(7) グループ学習

他人と協力したり、かかわりをもったりする中で成立する授業の体験を積むことで、小集団での学習にふさわしい態度とコミュニケーション能力を養う。また、小集団の中で自学自習の仕方を学ぶ機会をもたせる。

VI 編成

(1) 教員が原則二人から四人一組みて、巡回指導を行う。

(2) 生徒数(令和6年4月1日現在)

巡回校	1年	2年	3年	合計
練馬東	3	2	3	8
練馬	5	2	2	9
田柄	0	1	3	4
北町	2	1	4	7
豊溪	3	6	1	10
貫井	3	3	4	10
光が丘第一	1	4	1	6
光が丘第二	3	2	2	7
光が丘第三	4	0	6	10
合計	24	21	26	71

(3) 巡回分担

	月曜	火曜		水曜			木曜		金曜		
	練馬東	光二	貫井	豊溪	練馬	練馬東	光三	光一	田柄	北町	練馬
担当教員	◎川田 松下 小林 成田 高 牛山	◎小林 川田	◎松下 成田 高 牛山	◎高 小林 成田	牛山 松下	◎川田	◎牛山 小林 高 成田	◎松下 川田	◎小林 松下	◎成田 牛山	◎川田 高
専門員	菊池	中澤	中島	橋爪	柳谷	菊池	矢島	鈴木	石毛	桐野	柳谷

◎チーフ